ネギ、ワケギ、アサツキ*1(野菜類の登録農薬も使用できる) 人|使|使|使|疫|ベ|苗|葉|萎|黄|黒|さ|自|灰|小|小|ボ|黒|黒|軟 色菌 用 リ腐 時 +}-機 用用 立 畜 核 構 期 薬剤名 ケ 分 枯凋斑斑び絹か 菌穂腐 ス 類 腐 ツ 毒日回条 枯 核 \supset 葉 核 敗 数 枯 数 件 病 病 病 病 病 病 病 病 イオウFL ☆☆ M2 *| _ 0 0 スターナ水 31 7 3 7 3 0 トップジンM水 ☆ *a 1 0 0 トップジンM粉DL ☆ 7 3 (0) 1 샀 30 1 (0) ベンレート水 1 0 0 1 *a 1 (0) ☆ *iハチハチ乳 劇 7 2 ₩ 39 0 0 *k 2 0 アフェットFL 7 2 1 000 00 000 ☆ 7 劇 1 4 カナメFL 14 2 ☆ ケンジャFL 7 *h 1 苗 パレード20FL ☆ 7 1 3 0 000 0 0 *b 3 0 モンカットFL40 0 モンカット粒 ☆ 7 *b 3 000 0 4 アミスター20FL ☆ 0 000 11 ☆ 7 4 0 000 3 7 000 ストロビーFL 11 21 2 (0) ファンタジスタ顆水 7 3 00 0 0 11 メジャーFL 3 0 (0) 000 0 11 1 ☆ 4 ランマンFL 21 3 3 2 29 0 フロンサイド粉 *c ☆ 7 フルピカFL 4 0 ☆ 1 3 0 セイビアーFL20 12 3 3 0 21 3 スミレックス水 0 0 2 0 0 (0) ロブラール水 3 2 14 ☆ ☆ 0

ネギ、ワケギ、アサツキ*1(野菜類の登録農薬も使用できる) 人|使|使|使|疫|ベ|苗|葉|萎|黄|黒|さ|自|灰|小|小|ボ|黒|黒|軟 菌 用 色 腐 IJ 時 +}-機 用用 立 畜 菌 核 構 期 薬剤名 ケ 分 枯凋斑斑び絹か 菌穂腐 ス 類 腐 ツ 毒日回条 枯 核 \supset 葉 び 核 敗 数 枯 数 件 病 病 病 病 病 病 病 病 ギ 病病 リゾレックス水 ☆ *e 3 0 14 0 リゾレックス粉 ☆ 14 *f 3 オンリーワンFL ☆ ☆ ☆ 14 3 0 0 3 サプロール乳 ☆ 1 5 0 3 ☆ 1 *a (0) トリフミン水 3 ☆ *n 1 苗 (0) *e 3 0 *k 3 0 0 モンガリット粒 ☆ 3 3 *e 0 *.j 1 土 ☆ 3 ☆ 7 0 ラリー水 ☆ 14 3 ラリー乳 3 0 14 ポリオキンAL水 ☆ 19 14 3 0 フェスティバル水 ☆ 40 14 3 0 レーバスFL ☆ 7 2 0 40 ☆ *b 2 オリゼメート粒 *g 1 0 ☆ P2 ☆ *b 1 アリエッティ水 ₩ ₩ P7 3 3 00 샀 3 ピシロック凡 U17 1 *j 1 (R) バリダシン液5 U18 2 0 1 ヨネポン水 ☆ ☆ ☆ 7 4 0 00 M1 ジマンダイセン水 ☆ М3 14 3 (0) 00 ペンコゼブFL ☆ 14 3 0 M3 3 0 0 14 2 0 00 ダコニール1000FL M5 ☆ *d 1 (R) ベルクート水 M7 30 3 0 0 0 0 00 ユニフォーム粒 $4 \cdot 11$ 1 *m リドミルゴールドM 4 · M3 14 3 0 Ζ顆水

0

(0)

14 3

14 2

4·M5

フォリオゴールドFL

マサッナ*1/12世紀

<u>ネギ、ワケギ</u>				ツモ				のを																
	ネ	ワ	ア		人	使	使	使	疫	7,	莊	葉	萎	黄	黒	さ	白	灰	小	小	ボ	黒	黒	軟
			+}-	作用機	畜	用 時												色	菌	-+	トリ	腐		
薬剤名		ケ	7	構分類	亩	期	H	用		ے	立	枯	凋	斑	斑	び	絹	か		菌	チス	菌	穂	腐
			ツ	類コー	毒	日 日	回	条			枯							び	腐敗	核		核		
	10	1.0		ド	lu.	数	141	61		.4.							.4.	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	,	.4.	枯	الما		
عاداء	ギ	干	キ	01 04	性			1牛	抦	抦	抦	抦	抦	抦	抦	抦	抦	抦	抦	抦	炡	病	抦	-
カセット水	☆			31.24		14																	<u> </u>	0
ナレート水	☆			31·M1		14	_									_						ш	<u> </u>	0
シグナムWDG	☆			7.11		7	3			0					0	0							<u> </u>	
ベジセイバーFL	☆			7·M5		14	2			0		0			0	0	0		0		\vdash	\perp	<u> </u>	
アミスターオプティ FL	☆			11·M5		14	3			0		0		0	0	0			0					
ダイナモ顆水	$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$			21.27		3	4			0														
ドーシャスFL	$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$			21·M5		14	3			0					0									
ザンプロDMFL	$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$			45.40		14	3			0														
カスミンボルドー水	$\stackrel{\wedge}{\simeq}$			24·M1		14	2																	0
テーク水	☆			3 · M3		14	3			0		0			0	0								
ダイアメリットDF	☆			19·M7		30	3								0	0								
ポリベリン水	☆			19·M7		14	3					0		0	0				0					
ベトファイター顆水	☆			40.27		14	3			0														
カンパネラ水							_																	
ベネセット水	☆			40·M3		14	3			0					0									
カーニバル水	☆			40·M5		14	3			0					0	0								
プロポーズ顆水	$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$			40·M5		14	3			0		0												

^{*1:}ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。☆印で区別した。

- *a:定植直前 *b:土寄せ時(但し収穫30日前まで) *c:土寄せ時(但し収穫21日前まで)
- *d:出芽揃い後(出芽3日後~10日後まで) *e:土寄せ時(但し収穫14日前まで)
- *f:土寄せ前(但し収穫14日前まで) *g:生育期(但し収穫35日前まで) *h:育苗期後半~定植当日
- *i:植付前 *j:は種時 *k:生育期(但し収穫14日前まで) *1:発病前~発病初期
- *m:土寄せ時(但し収穫45日前まで) *n:定植前
- 第:リンクトニア菌による病害 苗:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は、
- 土耕栽培による苗には使用できない。
- 土:土壌表面散布

<u> </u>		_		十 (里					求层	_	÷ &					_			
	ネ	ワ	ア	作	人	使	使	使	ア	ア	ハ	タ	タ		ネ	ネ	コ	ネ	そ
		l		用		用			ブ	41;	モ		マ	口		丰	ガ		
			サ	機	畜	時	H	用		9		ネ	~	イ	ギ	~	ネ	ダ	0)
			ש	構	亩	期	Ж	Ж	ラ	3	グ	1	ネ	チ	7	IJ	A	2	
薬剤名		ケ		分		791				١,	リ			モ			シ		他
			ツ	類	毒		回	条	Δ	ウ	バ	バ	ギ	ジ	コ	A		1	
			_	コー	~-	日	Ι	//~	シ	マ	エ		バ	3		シ	類		害
				ド		数			,		ㅗ			1		•	幼		
	ギ	ギ	キ	·	性)	数	件	類	類	類	エ	エ	ウ	ガ	類	虫	類	虫
スピノエース顆水	☆	☆	☆	5		3	3			0				0					
フローバックDF	☆			11A		*b	-							0					
スラゴ	*2	*2	*2	UN		*L	-												ナ
バイオセーフ	☆			-		*h	-												ク
カルホス粉	☆	☆	☆	1B		*d	2									0			
20 x x x x x x x x x x x x x x x x x x x	☆					*f	1									0			
カルホス微粒F	☆	l –		1B	劇	*a	1									0			
/4 / F 付い / い 7 D以 作立 I'	M			110	冰川				-				H			_			-
11 / - 1 4	1	☆	☆	10	<u> </u>	*d	2									0			
サイアノックス乳	☆			1B		21	2			0									
ショットガン乳	$\stackrel{\wedge}{\sim}$	☆		1B	劇	21	2			ギ									
0 1 7 1 70 90				10	195-1	30	2			ギ									
ゼノマジョン回 40	$\stackrel{\wedge}{\sim}$	$\stackrel{\wedge}{\sim}$		1.0	ingto	21	2		0	0	ネ		0		0				
ダイアジノン乳40			☆	1B	劇	30	2		0	0	ネ		0		0				
ダイアジノン粒5	☆	☆	☆	1B		*d	2			_	Ė		_		_		0		
ダイアジノン粒10	☆	☆	☆	1B	劇	*f	1					0							
ネキリエースK粒	☆	M	M	1B	1951	30	2					9				0			
	_								0							0			
マラソン乳	☆			1B		7	6		0	0	/\								
ラグビーMC粒	☆			1B		* S	1											0	コ
アグロスリン乳	☆			3A	劇	7	5		0		ネ			0	0				
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		☆		011	150.1	3	2		0	0	ネ			0	0				
アディオン乳	☆			3A		7	3			0				0	0				
テルスター水	☆			3A		7	2							0					
トレボン乳	☆			3A		21	2							0					
	☆				١.	*a	1									0		0	ク
フォース粒	☆	H		3A	劇	30	1						H						ク
アクタラ顆溶	☆	☆		4A		3	3			世	ネ							9	Ľ
/ ノブノ根俗	_	_		4A	-		J												
アクタラ粒5	☆	☆	☆	4A		*a	1				ネ								
	☆					*f				ギ									
	☆					* g	1	抽		0	ネ								ク
アドマイヤーFL	$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$	L		4A	劇	14	2			0			L						
		☆	☆			3	2			0									
アドマイヤー1粒	☆	☆	☆	4A		*a	1			0									
	☆	☆				3	2			0									
アルバリン顆溶	☆	Ĥ				*g	1	抽		_	0	0		<u></u>	0				
スタークル顆溶	☆			4A		_		灌		0	0	9		9					ト
・・/ /・ /尽/口	W	_^				*j	1			_	_		-						1
		☆				* j	1	灌		0	0								

<u> ネキ、ワケキ、 </u>	ר ץ	ァ`	ン:	十 (]	野菜	類	の:	登銀	录是	學	<u> </u>	使.	用`						
	ネ	ワ	ア	作	人	使	使	使	ア	ア	ハ	タ	タ	シ	ネ	ネ	コ	ネ	そ
				用		用			ブ	ザ	モ		マ	口		丰	ガ		
			サ	機	畜	時	m	用			グ			イ	ギ	7	ネ	ダ	の
			9	構	Ħ	期	Л	Л	ラ	3		√ `	ネ	/		IJ	A	 	
薬剤名		ケ		分					λ.	٠,	IJ		ギ	モ		7.	シ		他
			ツ	類コ	毒	日 日	口	条		ウ	バ	バ	7	ジュ	コ	A	類	=	4
				Ī		数			シ	マ	ェ		バ	3		シ	幼		害
	44	ギ	4.	ド	性	333	*/-	件	米呂	米呂	粘	+	_	トゥ	ガ	岩石		類	虫
	~ ☆	7	7		生	*f	奴	7+	規	<u>短</u>	(回)	4	ㅗ	9	//	炽	土	規	迅
アルバリン粒	☆					*a	1		-	-	-							\vdash	
スタークル粒	₩			4A		-	2		H	0	0							\vdash	ク
フィン ファイ <u>型</u>	W					*p				-	0							\vdash	2
	٨	☆				*c	1			() ())	(6)						\vdash	
12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	☆			4.4		*a	1				ネ	0						<u> </u>	
ダントツ粒	☆	Α.		4A		*f	1				ネ								
	☆	W	☆			3	4		<u> </u>		ネ							0	
ベストガード溶	☆			4A		1	3				ネ								ク
	☆					*f					ネ								
	$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$					*r	1	Δ		ギ									
ベストガード粒	☆			4A		*a					ネ								ク
	$\stackrel{\wedge}{\not\sim}$					1	3			ギ	ネ								
		$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$	$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$			*a	1				ネ								
	$\stackrel{\wedge}{\sim}$					*a	1			ギ	ネ	0							
ベニカ粒	☆			4A		*f	1			ギ	ネ								
	☆	$\stackrel{\wedge}{\simeq}$	$\stackrel{\wedge}{\sim}$			3	4			ギ	ネ								
ベニカ溶	☆	☆		4A		3	4				ネ								
モスピラン顆溶	☆	☆	☆	4A	劇	7	3			0									
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	☆	☆				*f					ネ								
モスピラン粒	☆	☆		4A		*a	1				ネ								
	☆					*m					ネ								
ディアナSC	☆			5		1	2				- ネ			0	0				
アグリメック乳	☆			6	劇		3				- ネ								
アニキ乳	☆			6	1951	3	3			ギ	0			(A)	0			Н	
	☆									,	0			0	•				
アファーム乳	M	☆	☆	6		7	3				9			0				H	
コルト顆水	☆	M	M	9B		3	3			ギ	シ			0					
コテツFL	₩				례	7	2		0	7	イネ			0	0			\vdash	د1
				13	劇	_								0	0			\vdash	ヒ
パダンSG溶	☆	_^	_^	14	劇	1	2	\vdash	<u> </u>	<u>©</u>					6			\vdash	ク
リーフガード顆水	☆	_		14	劇	7	2	Н	\vdash	-	ネ				0			\vdash	
アタブロン乳	☆	☆	☆	15		21	3		_	ギ	١.			0				<u> </u>	
カスケード乳	☆			15		14	3	Ш		ギ	ネ			0				Ш	ク
ノーモルト乳	$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$			15		7	2	Ш	<u> </u>					0					
マッチ乳	$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$			15		7	3	Ш		ギ				0					
		$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$		~		21	3							0					

ネギ. ワケギ. アサツキ* (野菜類の登録農薬も使用できる)

ネ	<u>ネキ、リケキ、</u>	<u>' : </u>			十(里				登卸			€ €	(史)	用_						
 業剤名 大子・サート 機構 分類		ネ	ワ	ア	作	人	使	使	使	ア	ア	ハ	タ	タ	シ	ネ	ネ	コ	ネ	そ
薬剤名 サ 機構分分類コード 田 男 男 男 男 用 男 ラ ミ グ ネ ネ チャック が 水 ス チャック が 他 男 別 所 用 男 ラ ミ グ リ バ バ バ ド ジョト シ 幼 幼 虫 類 虫 虫 の シ シ 類 幼 虫 類 虫 虫 の シ シ 類 幼 虫 類 虫 虫 の の の の の の の の の の の の の の の の							用			ブ	4 <u>1</u> ;	モ		-	口		+	ガ		
業剤名				北		女	時	H	ш		,	H	シ		イ	42	7	ネ	ĿŤ	0)
業削名				9		H	期	Ж	Ж	ラ	3	2	イ	ネ	チ	7	IJ	l	7	
マートド マートリックド マーク マーク マーク マーク マートリックド マートリック マートリット マートリット マートリット マートリック マートリット マートリック マートリットリットリット マートリック マートリットリットリットリット マートリットリットリットリット マートリットリットリット マートリック マートリットリットリットリット マートリットリットリットリット マートリットリットリットリット マートリットリットリットリット マートリットリットリットリット マートリットリットリットリット マートリットリットリットリット マートリットリットリットリット マートリットリットリットリットリットリットリットリットリットリット マートリットリットリットリットリットリットリットリットリットリットリット マートリットリットリットリットリットリットリット	薬剤名		ケ		分					,	l	IJ		.1			,	l		他
				ツ		毒		口	条	Δ	7	バ	バ	7	ジ	コ	Δ	l	=	
# # # #							· ·			シ	7	~		バ			シ			害
アプロードFL							釵													
アプロードPL		ギ	ギ		'	性	$\overline{}$	数	件	類	類	類	エ	エ	ウ	ガ	類	虫		虫
☆	アプロードFL			*3	16			1											_	
マトリックFL ☆ ☆ ☆ 18 7 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					10		14	_	灌										0	
□ ムダンFL ☆ 21A 劇 7 2 ◎ ◎ ネ ◎ ◎ 0 夕 クトルネードエースDF ☆ 22A 14 2 ○ ◎ ◎ ネ ◎ ◎ ◎ ○ ○ グ フェニックス顆水 ☆ 28 7 3 0 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ グ ブリロッソ粒オメガ ☆ 28 1 3 3 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎		$\stackrel{\wedge}{\sim}$			18			2							0					
		$\stackrel{\wedge}{\sim}$	$\stackrel{\wedge}{\sim}$	$\stackrel{\wedge}{\sim}$	18		7	3							0					
トルネードエースDF $☆$ 22A 14 2	ロムダンFL	$\stackrel{\wedge}{\sim}$			18		7	3							0					
フェニックス類水 ☆ 28 7 3 □ <t< td=""><td>ハチハチ乳</td><td>$\stackrel{\wedge}{\sim}$</td><td></td><td></td><td>21A</td><td>劇</td><td>7</td><td>2</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>ネ</td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td>ク</td></t<>	ハチハチ乳	$\stackrel{\wedge}{\sim}$			21A	劇	7	2		0	0	ネ			0	0				ク
プリロッソ粒オメガ	トルネードエースDF	☆			22A		14	2							0					
プリロッソ粒オメガ	フェニックス顆水	☆			28		7	3							0	0				
プレバソンFL 5 ☆ 28 *Q 1 苗 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					28			3			(0)	(0)								
A									甘			_								
ベオビアOD ☆ 28 1 3 〇	プレバソンFL 5				28				ш			•			0	ര				
ペリマークSС ☆ 28 *Q 1 苗 〇 <t< td=""><td>ベネビアOD</td><td></td><td></td><td></td><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td><u></u></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	ベネビアOD				28						<u></u>					9				
マクトアリア					20				#		_		0	0)		0			
ヨーバルFL	ベリマークSC				28						_	_	9	0			_			
ヨーバルFL ☆ 22B 1 2		_					_				_				0		0			
アクセルFL \Diamond 22B 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ヨーバルFL				28		_		田		<u> </u>	_								2
アクセルベイト ☆ 22B 1 2 □ <t< td=""><td>7 5 1. 1 D</td><td></td><td></td><td></td><td>000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td>_</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></t<>	7 5 1. 1 D				000						0	0			_	0				2
ウララDF $☆$ 29 1 3 $#$ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								-							0					
																	0			
グレーシア乳	ウララDF	-			29		_				ギ									
☆											0	0			0	0				ク
プロフレアSC	グレーシア乳				30		21	1	灌										0	
ファインセーブFL ☆ 34 劇 3 2 0 0 ネ 0 0 ネ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		☆					*t	1	浸										0	
ファインセーフFL	ブロフレアSC	☆			30		1	3				ネ			0	0				
プレオFL ☆ UN 3 4 ギ ◎ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	-	☆			0.4	dad	3	2			0	ネ								
プレオFL	ファインセーフ配		☆	☆	34	劚	1	2			0	ネ								
キックオフ顆水 ☆ 4A・28 *g 1 苗 ⑤ ⑤ 夕 ジュリボFL ☆ 4A・28 *Q 1 苗 ボネ ○ ⑥ ⑥ ⑤ ⑤ Ø ミネクトデュオ粒 ☆ 4A・28 *k *k *a 1 ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ Ø Ø ダブルシューターSE ☆ 5・- 3 3 ⑥ ネ ⑥ ◇ ○ </td <td>プレオFL</td> <td>☆</td> <td></td> <td></td> <td>UN</td> <td></td> <td>_</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	プレオFL	☆			UN		_				_				0					
ジュリボFL $☆$ $4A \cdot 28$ *Q 1 苗 ギ ネ ⑤ ⑥ ⑥ ⑥ ミネクトデュオ粒 $☆$ $4A \cdot 28$ *k *a 1 ○ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ○ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥						ļ			描		_	0			_	\vdash				ク
ミネクトデュオ粒 ☆ 4A・28 *k *a 1 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○				H			_							(A)	٠		0		(A)	-
ミネクトデュオ粒 ☆ 4A・28 *a ¹ ○○○○ ○○○ ダブルシューターSE ☆ 5・- 3 3 ○○○ ○○	7 7 NIL	~			111 20				ш					9	0		_		9	-
3 3 □ □ □	ミネクトデュオ粒	☆			4A • 28			1			0		~)			\vdash
ダブルシューターSE ☆ 5・- 33 0 0 ネ 0						L		3			0		Ĺ		0					
	ダブルシューターSE	☆			5						0				0					
アファームエクセラ顆水 ☆ 6・15 7 3 ギ ネ ◎	アファームエクセラ顆水	☆			6 · 15		7	3			ギ	ネ			0					

^{*1:}ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。☆印で区別した。 *2:「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイが加害する農 作物等」での登録。 *3:伏せ込み栽培

*a:定植時

*b:発生初期(但し収穫前日まで)

*c: 生育期(但し収穫21日前まで)

*d:播種時又は定植時

*e: 土寄せ前(但し収穫30日前まで

*f:播種時

*g:定植前日~定植時

*h:幼虫発生期

*j:生育期(但し収穫14日前まで)

*k:育苗期後半

*1.: 発生時

*m:定植前日~定植当日

*p:生育期(但し収穫3日前まで)

*Q:育苗期後半~定植当日

*r:定植当日 *s:定植前

*S. 足恒削 *t: 植付時

ギ:ネギアザミウマ

ク:クロバネキノコバエ類

コ:ネコブセンチュウ

ト:トビイロヒョウタンゾウムシ及びクロバネキノコバエ類

ナ:ナメクジ類及びカタツムリ類

ネ:ネギハモグリバエ

ハ:ネギハモグリバエ(但し一部の商品はハモグリバエで登録あり)

ヒ:ヒョウタンゾウムシ類

灌:生育期に株元灌注する

苗:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は土耕栽培による苗には使用できない。

△:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する。

浸:苗浸漬

主要	要病害虫発生消長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病	春まき												
11.1	さび病												
害	黒斑病												
	秋まき												
	さび病											_	
	黒斑病												
虫	アブラムシ類												
11	ネギハモグリバエ												
害	ネギハモグリバエ ネギアザミウマ												

作型 — ; 栽培期 — ; 収穫期 病害虫発生消長 — ; 発生期 — ; 発生盛期

خا باداد	P L P A w L H P	Lettery I VI	A 1. T
病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。	秋及び春の2回発生
	, , , , ,	2. 発生初期から次の薬剤のいずれ	するが、特に4~5月に
		かを散布する。	降雨日が多いと発生し
		アミスター20フロアブル●	やすい。
		2000倍	
			ギ、ワケギ、ノビルな
		ジマンダイセン水和剤☆ 600倍	どに発生するが、ラッ
			キョウ、ニラ、アサツ
		リドミルゴールド	キなどにはほとんど発
		MZ (顆水)☆● 1000倍	生しない。
		3.全身感染している株は、早期に	
		抜きとって処分する。	
	収穫後	・枯死葉などの伝染源を畑に残さ	●耐性菌を生じやすい
		ない。	ので連用しない。
黒斑病	生育期	1. 肥料切れすると発生しやすいの	
71117 2271 9		で、肥培管理に注意する。	するが、特に梅雨期お
		2. 発病を認めたら初期に次の薬剤	よび秋季に高温で降雨
		のいずれかを散布する。	の多い年に多発する。
		アミスター20フロアブル 2000倍	
		ストロビーフロアブル☆ 2000倍	
		グラー、1,1000(PI) ★ 1000(☆	
		ダコニール1000 (FL)★ 1000倍	
		ポリオキシンAL水和剤☆	
		1000倍	
		ロブラール水和剤 1000~1500倍	
	収穫後	・枯死葉などの伝染源を畑に残さ	
		ない。	

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。 無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

病害虫名	防除時期	一防除方法	参考事項
さび病	定植前	1. 肥料切れをしないよう肥培管理	2 7 7 7 7
C 0 7/1	人们也的	に注意する。	ギ、ニンニク、ニラ、
		2. 雨よけ栽培を行う。	ラッキョウ、アサツキ
	定植後	・発生を認めたら初期に次の薬剤	などに発生する。5~6
	/=1111/	のいずれかを散布する。	月と9~10月に降雨が
		アミスター20フロアブル <u>#1、#2</u>	多いと発生しやすい。
			薬剤散布の際は展着
		ストロビーフロアブル☆ <u>#1</u>	剤を加用する。
		2000倍	#1QoI剤に深達性展
		テーク水和剤☆● 600倍 オンリーワンフロアブル●	着剤を使用すると薬害 を生じる場合がある
			(展着剤の項参照)。
		ラリー水和剤●#2 2000倍	
		<i>y y y y y y y y y y</i>	生じる恐れがあるので
			連用しない。
			<u>#2</u> ネギとワケギ、ア
			サツキで使用日数が異
	LOTE OF THE SAME	74T414 @ Im L W T T + 10 W U	なるので注意する。
┃黒腐菌核 ┃病	播種則	・強酸性の畑は消石灰を10 a 当り	ネギのほかタマネ
7円	定植時	120kg施用する。 ・発病床の苗は定植しない。	ギ、ニンニク、ラッキョウ、ニラなどに発生
	生育期	・発病株は早期に処分する。	する。11~12月および
	T-17/1	75/MATICALITY 9 00	3~4月頃に発生する。
	定植時	・定植直前に次の薬剤のいずれか	低温、多湿時に発病
敗病		に30分間根部浸漬をする。	が助長される。
		トップジンM水和剤☆#1 200倍	H1 1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
		ベンレート水和剤☆ <u>#2</u> 500倍	#1チェーンポットで育 苗している場合は、1
	生育期	1. 発生を認めたら初期に次の薬剤	冊(30×60cm、使用土
		のいずれかを散布する。	壊約50)あたり250倍
		フルピカフロアブル☆ 2000倍	液を0.5~10苗床灌注
		ベンレート水和剤☆	オス
		1000~2000倍	#2セル成型育苗トレイ
		ポリベリン水和剤☆ 1500倍 ロブラール水和剤 1000~1500倍	VIG
		2. 発病株は早期に処分する。	月田 している物口は、
		2. AMANICALITY OF	1 箱又は1冊(30×
			60cm、使用土壌約50)
			あたり500m1 灌注す
ボトリチ	生育期	・発生を認めたら次の薬剤を散布	`∿°
ス葉枯症	17/91	する。	●耐性菌を生じやすい
/(11/11/		ロブラール水和剤●	ので連用しない。
		1000~1500倍	

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。 無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり ☆:ネギのみに登録あり

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
萎縮病	播種前	・ネギ畑の近くに苗床を設けない。	ネギのほかタマネ
	苗床期~	1 苗床中の被害株は見つけ次第す	ギ、ニラ、ラッキョ ウ、スイセンなどに発
	生育期	みやかに抜きとる。	生し、アブラムシ類に
		2. 無病苗を選別し定植する。 3. アブラムシ類の項を参考に防除す	よって媒介される。
		る。	石倉ネギ、晩ネギな
アブラム	苗床期		どは耐病性が高い。 4~6月および9~11
シ類	田小八分	まきネギでは発芽揃~6月上旬、	月に高温乾燥が続くと
1		秋まきネギでは発芽揃~12月中	アブラムシ類が多くな
		旬)。 つきはぎ ニーポを記案と マゴ	り、多発する。
		2. シルバーテープを設置し、アブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。	
		3. 苗床に次の薬剤のいずれかを散	
		布する。	
		ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤☆ 2000~3000倍	
	生育期	1. シルバーテープを設置し、アブ	
		ラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。	
		2. 次の薬剤のいずれかを散布する。	
		アグロスリン乳剤★ 2000倍 ダイアジノン乳剤40 1000倍	
		マラソン乳剤☆ 2000~3000倍	
ネギアザ	定植時	1. 施設では近紫外線除去フィルム	夏期が高温乾燥の時
ミウマ		を展張し、開口部には目合い	に多発する。(問題に なっている病害虫の生
		0.6mm以下の防虫ネットを張る。 2. 次の薬剤のいずれかを植溝に施	態と防除-ネギアザミ
		用し、土壌混和する。	ウマの項参照)
		ベストガード粒剤☆ 6 kg/10 a	
	4. 大 柳	モスピラン粒剤 6 kg/10 a	
	生育期	発生を見たら次の薬剤のいずれ かを散布する。	
			#アザミウマ類での
		アディオン乳剤☆# 3000倍	
		アルバリン顆粒水溶剤★#	
		2000倍 スタークル顆粒水溶剤★#	
		2000倍	
		スピノエース顆粒水和剤#	
		2500~5000倍 ダイアジノン乳剤40#	
		ダイナジノン乳剤40 # 700~1200倍	
		ダントツ水溶剤 2000~4000倍	
		ディアナSC☆# 2500~5000倍	
		モスピラン顆粒水溶剤# 2000倍	

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。 無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

		ノイ (野来類の登跡長来も使用し	
病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ネギハモ		・次の薬剤を施用する。	
グリバエ	定植時	モスピラン粒剤 <u>#1</u> 6 kg/10 a	<u>#1</u> モスピラン粒剤は、
	生育期	1. 施設では近紫外線除去フィルム	播種時は播溝、植付時
		を展張し、開口部には目合い	には植溝に施用し土壌
		0.6mm以下の防虫ネットを張る。	混和する。
		2. 次の薬剤のいずれかを散布する。	
		アファーム乳剤☆#2 1000倍	<u>#2</u> ハモグリバエ類での
		アルバリン粒剤☆#2	登録
		(株元散布) 6~9kg/10 a	
		スタークル粒剤☆#2	
		(株元散布) 6~9kg/10 a	
		ダイアジノン乳剤40	
		1000~2000倍	
		ダントツ水溶剤 2000~4000倍	
		ディアナSC☆ 2500~5000倍	
		プレバソンフロアブル5☆#2	
		2000倍	
シロイチ	生育期	・8月下旬頃から発生に注意し、	
モジョト		幼虫の若齢期に次の薬剤のいずれ	
ウ		かを散布する。	
		アグロスリン乳剤★ 1000倍	
		アファーム乳剤 1000~2000倍	
		カスケード乳剤☆ 4000倍	
		トレボン乳剤☆ 1000倍	
		ノーモルト乳剤☆ 2000倍	
		フェニックス顆粒水和剤☆	
		2000~4000倍	
		プレバソンフロアブル5☆ 2000倍	
		フローバックDF☆ 1000倍	
ハスモン		・フェロディンSLを、トラップに	
ヨトウ	期~発生終	1 ha当たり2~4個取り付けて設置	
3. 38 33	期	する。	
ネギコガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれ	
		かを散布する。	
		アグロスリン乳剤★ 2000倍	
		アニキ乳剤☆ 1000~2000倍	
		ダイアジノン乳剤40 1000倍	
	Latifette, L. L. V.	プレバソンフロアブル5☆ 2000倍	
	播種または	・次の薬剤を土壌表面散布または	
シ類	植付時	土壌混和処理する。	
7 0 14 0 22	> ⊥	カルホス粉剤 6 kg/10 a	
その他の病	吾田	白色疫病	

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。 無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり